

令和3年2月（2021年）No. 662

<速報>

とよた映像全国コンに

河口、高瀬両氏が受賞

豊田市で行われているビデオの全国コンテストに上記2名の方が入賞されましたのでお知らせいたします。

- 審査員特別賞 河口禮志 「めおと節」
- 同上 高瀬辰雄 「紙吹雪舞う拳母祭り」

以上

教育委員会、各観光協会他の後援で、毎年行われているものである。「とよた映像大賞」は賞金10万円出るといふ。特別賞は記念品のようなものであるが、兎に角全国コン入賞おめでとうございます。拍手！！

ちなみに今年は丹波篠山コンにはOMCからは誰もかなわなかったようだ。（昨年は5名受賞枠のところOMCから2名受賞した）

緊急事態宣言延長で2月例会は夜から昼に変更

第2次緊急事態宣言で1月の通常例会は夜8時までとの制約を受けたため、第2例会の次の日だったこともあり、取りやめにしたが、どうやら宣言が1ヶ月延びて3月7日迄となった為、2月27日の夜に予定していた通常例会は、急遽同日の午後に変更することにした。但し3月以降は予定通り第4土曜日の夜に戻る。一方、この際昼間の例会にしてはどうか、との声もあるが、予約の確定性と午後既に予定がある人の有無等、課題もあるので、皆の声を聞きながら今後の事は決めていきたい。

2月例会のご案内

通常例会；2月第4土曜日27日、13時より 難波市民学習センター・セミナー展示室にて開催致します。夜から昼間の午後に変更になっていますので、お間違い無き様願います。マスク忘れずに。ご来場お待ちしております。

<総会報告・要旨>

■ 令和2年度活動報告

今年の総会は、令和2年度がコロナ禍で十分な活動ができなかったこともあるが、それなりに会員諸氏の頑張りがあり、まずまずのコロナ時代の成果はあったと思う。

課題コンは「実」がテーマだったが良い作品が見られた。一方撮影会は中止のやむなきに至ったのは残念だった。

丹波篠山全国コンは、ノミネート枠5本の中にわが OMC から入賞者2名が出たことは特筆すべき慶事であった。高瀬氏と中村さんに拍手を贈りたい。

一泊撮影会はコロナのせいで中止となったことは残念だった。

映像フェスティバルは、朝日生命ホールで第60回記念発表会であったが、コロナで大きな制約を受けている中、開催できたというだけでよしとせざるを得ない。

例会は3ヶ月にわたって中止せざるを得なかったが、ZOOM ミーティングという、新しい手法が実践的に行われて成果をあげられるようになったのは良かった。

■ 令和3年度活動計画

・例会の実施；いま第二次緊急事態宣言下にあり、夜の例会が20時迄となった為、1月例会は中止としたが、2月例会時も宣言は続いていると思われるので、夜の例会を止めて昼間の例会に変更した。3月以降は夜の部を予約済みだが、今後昼間の例会に変えることも検討課題だ。

・ZOOM ミーティング；全員が対応できるとは限らないが、出来るだけ参加して、コミュニケーションの場として活用してほしい、すでに4人が輪番制でミーティングの中心役（ホスト）を務める運営がされている。

・課題コンテストの実施；毎年1月に宮中歌会始めの儀があり、来年度の御題が発表されているが、今年はコロナ禍で開催が延期されている。いつれ開催される筈であるから、発表され次第、そのお題に沿ったテーマで課題コンを実施したい。コンテストは7月第2例会を予定している。

● 撮影会；今年は日帰りで企画する。

● 公開映写会；10月か11月に実施する

■ 令和3年度 世話役役割分担、例会運営担当、いずれも提案通り可決された。

■ 会計報告、承認

■ 各種表彰式

・年度賞；2020年 年度優秀賞 中村氏

〃 〃 高瀬氏

〃 年度秀作賞 河口氏

以上3名の方に表彰状と記念品の盾が会長から手渡された。拍手！！

● 最多出席賞、最多出品賞

前月号に発表された方々に、それぞれ記念の品（ブルーレイディスク）が会長より手渡された。例会を盛り立てて頂いた功労者に対し、拍手！！

以上で滞りなく総会は終わり、休憩をはさんで第2例会へと進行した。

日本を縦断する映像発表会

第39回日本を縦断する映像発表会は、昨年は緊急事態宣言で会場が閉鎖され、中止となったが、昨年予定したプログラムそのまま今年実施する。しかし今年もコロナ禍が続いており、何かと制約が多い発表会となった。まず入場制限で定員300名の会場に対し90名という制約である。昨秋に行われた大阪アマチュア映像祭と同じ手続きが今回も適用される。

記

■ 期 日；令和3年3月28日（日）

13時～

■ 場 所；大阪市立中央図書館

5F 大会議室

1月第2例会レポート

1月第2例会は第3木曜日21日午後、総会のあと2時半頃より開催、まだコロナ禍の中の例会で、3密を避け、人と人の間隔も空けての開催となった。久しぶりの柴辻氏の姿もあった。山口県の河口さんからは作品の参加があった。

■ 運営担当：司会・合原、書記・紙本、映写・進藤、メモリー記録・江村、受付・照明・森下・宮崎

■ 出席者：岡本、紙本、進藤、柴辻、高瀬、森下、宮崎、山本、上総、江村、合原、江藤 以上12名

【上映作品】（書記は紙本氏）

1. 散り紅葉 BD 8:00

岡本至弘

<作者コメント> 前月例会上映作品の改作です。BGMが著作権に抵触するとのことで、BGMを入れ替えました。映像も一部訂正しました。

<書記コメント> 「赤目溪紅会いたく来たけれど散り紅葉なり秋の夕暮れ」等五首の短歌と五つの滝の流れに舞う紅葉が秋の赤目を表現している。ライトアップ等詳細なコメントについては先月の進藤さんに譲ります。



2. 新たなる出発 BD 6:58

河口禮志

<書記コメント> 酒店三代目で公務員を務めてきた主人公は、パンの製造販売・私設図書館・ライブホールを「三丘文庫」として開店、小麦を栽培、パン粉を作り皆忙しく働いて美味しそうなパンが焼き上がり、地元の方に喜ばれる。これからもきっと愛される店になることでしょう。



3. 箕面七日市 BD 10:45

進藤信男

<作者コメント> 箕面のむかしを伝える「箕面七日市」。箕面は門前町であった。今も、毎年4月・7月・11月に関西一円より山伏が集結し、参拝者の願いを護摩木に添えて不動明王に届ける。こんな行事が、今の箕面に息づいていた。定期的に取材していた映像を振り返りながらまとめた。古い行事と現代の若者社会のコントラストが面白い。護摩の市という古い言葉に市民参加で手作り中心の市、寺院前の広場に箕面逸品の店が並ぶのはユニークだった。

<書記コメント> 瀧安寺の護摩供に合わせ、毎月7日（4月は15日）に100店以上が参加して商品に特典をつけたり、催しをしたりで「箕面山七日市と呼び大いに賑わうそうです。進藤さんはその様子を、時間をかけ残さずに取材されているようなので感心、最後大護摩で無病息災を祈って貰った様な気分になりました。



4. ノヴィ・サドを訪ねて BD 9:00

山本正夢

<作者コメント> 次男の嫁がセルビア出身の関係で多くの知人がいます。この街を訪ねた時も知人の友達が集まり飲めや歌へで、大歓迎されました。

<書記コメント> セルビアは東南ヨーロッパにある国でノヴィ・サドはその内の2番目の大きさの都市らしい。トウモロコシ畑から温泉がわき出るとは何とも珍しい現象で近隣住民はその恩恵を受けて居るように見受けられる。知人達に大騒ぎの大歓迎を受けたとある山本さんの姿がないのが何とも残念、姿があるともっと盛り上がったのにと惜しい気がした。



5. 三栖の炬火祭 BD 11:00

高瀬辰雄

<作者コメント> 京都の三栖神社の炬火祭は毎年10月の第2日曜日に行われる。祭りに使われる炬火は宇治川に自生する葦を用いて1年がかりで作られる。撮影は4年ほど前。撮り足りないところもありますが、昨年は



コロナ禍で祭りが中止となり、撮れなかったので、古い映像をそのまま編集してまとめました。

<書記コメント> 天武天皇之通過を迎えた住民が篝火を焚いて歓迎したのが始まりという伝承に由来するという。太鼓あり、葦を束ねた800kgもの炬火を30人ばかりで担ぎ。巡行の前に、なんと大量の水をかけるので驚く。火の粉が飛ぶのを防ぐためだろうか？珍しい祭りで、葦を持ち帰ると無病息災

6、府下にも楠の巨木あり BD

紙本 勝 10:10

<作者コメント> 今回は3作目ですが、巨木紀行には今年の6月から近畿の2府5県に21回出かけて62カ所を取材、編集で20作品が出来る予定ですが、いずれも「木」ばかりで飽きられるのではと、思っていますが、色々変わった木もありますのでご期待？ください。

7、われら めいカメラマン DVD

柴辻英一 9:00

<書記コメント> 暑い中、堺の公園を舞台にして、美人のモデルさんを追っつての熟年男女(平均年齢70歳)の撮影会の風景です。柴辻さん企画の撮影会を思い出しますが、続く作品発表をみると中々のもので「若い者には負けとられまへん」と楽しまれたようです。

8、淡路島・消えた鉄道 BD

江村一郎 8:30

<作者コメント> このような廃線紀行作品を作るようになってから淡路鉄道のことは知りました。大正時代から昭和40年代始めにかけ洲本港から福良港まで23.4キロの廃線跡を写真と共に巡った。もう少し路線や駅跡が残っているかなと思っていたが、ほとんどが道路や宅地に吸収されており痕跡を探すのに苦労した。

<書記コメント> 淡路鉄道の廃線跡を探すのに苦労をされたくらい、道路などに転用しているようですがそこは古い写真やビデオを引用して、在りし日そのままに再現されているのは流石です。

余談乍ら、私が昭和23年に3回乗降した先山駅と先山(頂上の千光寺に兵庫県の講習で3ヶ月滞在)が懐かしく思い出されました。

9、2020総統・立法委員選挙見学 BD

江藤洋司 6:40

<作者コメント> 昨年1月11日に行われた台湾総統選挙の見学に行った。知人の頼さんに会う回数を多くするために、行きは2時半発の深夜便にした。帰国日に頼さんに会いに行ったら赤福が一つ残されていた。賞味期限は過ぎている。

<書記コメント> 台湾の総統選挙は台湾にとって重要な選挙に違いなく蔡英文氏が当選された。投票率74.9%、日本の衆院選53.6%、何が違うのだろう。

江藤さんは台湾の選挙にまで関心があるらしく、又知人に会う回数を多くする為とありますが、義理でしょうかそれとも何か特典でもあるのでしょうか、両国の親善に貢献されていることは良いことに違いありません。

10、堺・大小路(大小路)を歩く BD

上総秀隆 15:30

<作者コメント> 堺の街の中心を東西に走る大小路を西に向かって歩いた。ご案内人は堺観光ボランティアの名ガイド川上浩さん。

<書記コメント> 大小路は堺の中心街を東西に横断する道路とか。歩きに参加した人達は要所、要所でボランティアの話と説明を聞き次々に進む。

歴史を知り、知識を広め、健康にも良い雰囲気を感じられる、和気藹々の歴史ウォークに見受けられました。

